

# 義務教育課だより 6月号

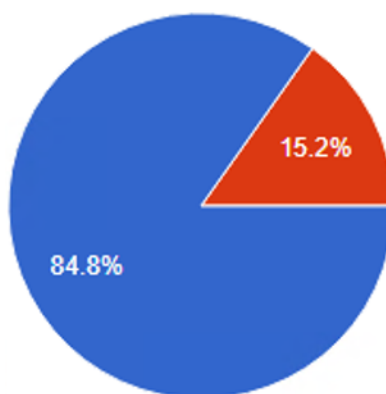
## 学力向上推進主任研修会を終えて

5月17日（月）、18日（火）、21日（金）の3日間、各教育事務所別「第1回学力向上推進主任研修会」を実施しました。例年、4月の早い段階で、管内ごとに集合して本研修会を開催していましたが、新型コロナウイルス感染症対策として、人流を可能な限り抑制する観点から、急遽オンライン（ライブ）開催としました。



研修会では、新学習指導要領の着実な実施に向け、各校から持ち寄った学力向上推進計画案を共有し、計画完成に向けての情報交換を行うとともに、ICTを活用した各校の事例報告を基に、効果的な学力向上の取組について協議しました。多くの先生方がオンライン会議は初めてという中ではありましたが、資料を画面共有しながら、熱心な協議が行われていました。参加した先生方は、自校における今後の取組に役立つ情報が収集できたようです。

研修会終了後のアンケートを無料のアプリを活用して実施しました。アンケート結果を自動集計できるだけでなく、右のようなグラフが表示されることで、データの傾向を瞬時に把握することができるこの試みは、ICTの有用性を感じる一事例と言えます。



質問8-1 県の学力向上の取組方針について

- 十分理解できた
- やや理解できた
- あまり理解できなかった
- 理解できなかった

そのアンケートの結果の一部を御紹介します。

- 新しい研修の形にわくわくしました。斬新なアイデアで子供たちにもこのようなわくわくを伝えたいと思います。
- 初めてのオンライン会議でした。想像していたよりも簡単にでき、グループ協議の際も発言しやすかったと思います。

## 全国学力・学習状況調査を終えて

先日の5月27日（木）に、全国学力・学習状況調査が2年ぶりに実施されました。全国一斉の臨時休業等で混乱の中スタートした昨年度は、児童生徒が落ち着いた学校生活を取り戻すことを最優先するため、実施が見送られました。今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響を把握、分析するため、質問紙調査に臨時休業



中の学習状況・環境等についての項目が新たに盛り込まれるとともに、ICTに関連した項目の充実が図られており、児童生徒の学力向上とともに、今後の学習状況等の改善に生かすことができるものとなっています。本調査の成果と課題を学校や地域で共有していただきたいと思います。

当日、非常変災による臨時休業等の影響で、実施できなかった学校については、約1か月間の「後日実施期間」が設定されていますので、積極的に調査を実施してください。

## ICT活用は学力向上のための一つのツール

愛媛県では今年度より、全ての公立小中高等学校に1人1台端末が整備されました。教育現場には、個別最適な学びを追求すべく大きな変化が求められており、世の中の期待も計り知れないものがあります。そのような中、愛媛県では、コンピュータ上で出題、解答、採点、集計等を行うCBTシステム（Computer Based Testing）の開発・運用の準備を進めています。定期テストやドリル等がCBT化されることにより、児童生徒へのフィードバックが速やかに行われるとともに、教員の業務負担縮減が図られることが期待されています。

多額の費用を投じて導入された1人1台端末を活用することは大切なことですが、ICT活用は手段であり、目的ではありません。また、全ての授業、全ての時間で使い続けるべきものではなく、教科の学びの本質に迫るため、どの場面でどのように活用するかが重要になります。児童生徒が「文房具」のように自由に操作し、新しい時代に求められる三つの資質・能力の育成が図られるよう、日常的な活用方法を模索し続けていきましょう。